

第36回 NFA四十雀サッカー大会(大会概要)

■期日:2019/9/22.23 ■場所:中台球技場 ■主催:成田市サッカー協会 ■主管:同協会5種部会
 ■共催:成田市体育協会 ■後援:無し ■開会式:08:30 ■試合開始:09:00
 ■事務局:LEGAME佐倉 ■大会会長:宇野 雅人 ■大会顧問:



【大会概要と開催経緯】

この大会は歴史が古く、市協会創立の翌年1984(昭和59)年から「成田市四十雀サッカー大会」と称し第1回大会が開催され、第11回(平成6年)大会から成田ケーブルテレビ(NCATV)杯の冠大会となった。昨年(2018年度)大会は、新たなスポンサーである保険ニュース社の冠で大会を実施したが、今年は拠出金分配先の関係でスポンサー無しでの開催となりました。初回大会から数えると36年度目に当たり、5種事業では春のホテルウェルコ成田杯と並び2大カップ戦のひとつ。初回大会覇者は記録無く不明、昨年大会はチャレンジ:LEGAME佐倉、エンジョイ:CPFC。通算成績はNKがチャレンジ:7回、エンジョイ:4回(NKエミ:+3回)でトップ



◆宇都宮市議/市協会顧問 ◆来賓:小泉成田市長挨拶 門馬体育協会会長/市協会顧問 ◆優勝カップ返還を受ける:宇野会長



◆チャレンジの部優勝:NKアーセナル(通算8度目)

◆チャレンジの部、準優勝の旭FC(エンジョイも準優勝でW受賞)



◆エンジョイの部優勝:CPFCの大会3連覇成る!

◆エンジョイの部 準優勝:旭FC

第36回 NFA 四十雀サッカー大会(チャレンジの部)

◆新鋭・旭FCとの一騎打ちの末、古豪成田キッカーズ(NK)の11年ぶりに優勝カップ奪還なる

【大会結果 チャレンジ部門】

【概要】今年のチャレンジの部には旭FCと七栄FCが参戦し全12チーム予選リーグ4ブロック制で開催。A組が優勝候補のFCボレイロ、対抗の酒々井FCと死のリーグを抜けたのはその両チームに快勝した栄RFC。B組は旭FCが僅差で競り勝ち1位抜け、C組はNKが手堅く勝ち残り、D組は予想通りLEGAME佐倉が1位抜け。決勝トーナメントでは新鋭の旭FCがどこまで勝ち抜けるかが見どころの大会となりました。

昨年大会での優勝チームが早々と予選リーグ敗退したため、優勝の行方は、LEGAME佐倉が頭ひとつ抜けている他は力量が接近しており、混沌とした状況。特にNKは、この大会では平成20(2008)年度大会から優勝から遠ざかっており、宇野会長自身個人的にも優勝カップを奪還したい所でしょう。

決勝Tでは、そのNKが地力を発揮します、頭ひとつ出ているLEGAME佐倉相手に、PK戦まで持込み、しかも9人目で決勝進出を決めます。対抗は予選リーグでFCボレイロを大差で下した栄RFCを相手に接戦に持込み、これもPK戦の末破ってきたダークホース旭FCでした。後は試合結果と写真からご想像ください。

■勝点と同じ場合:①得失点差、②総得点、③当該対戦の最大得点、④PK **【決勝トーナメント】**

【予選ブロック】

A組	酒々井 ナクレー	栄RFC40	FCボレイロ成田	勝点	得点	失点	得失点	順位
酒々井 ナクレー	*	●	●	0	1	8	-7	3
栄RFC40	○	*	○	3	5	1	4	1
FCボレイロ成田	○	●	*	3	6	3	3	2

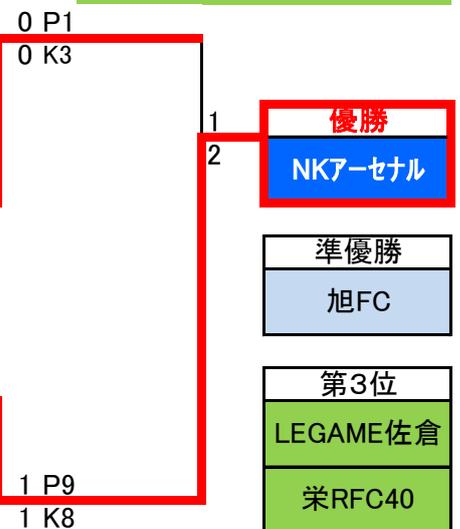
B組	NFCシャドーズ	三里塚FC	旭FC	勝点	得点	失点	得失点	順位
NFCシャドーズ	*	●	●	0	0	4	-4	3
三里塚FC	○	*	△(PK1-2)	4	2	0	2	2
旭FC	○	△(PK2-1)	*	4	2	0	2	1

C組	公津FC	NKアーセナル	七栄FC	勝点	得点	失点	得失点	順位
公津FC	*	●	○	3	2	1	1	2
NKアーセナル	○	*	○	6	6	0	6	1
七栄FC	●	●	*	0	0	7	-7	3

D組	LEGAME佐倉	日吉台SC	成田SSS	勝点	得点	失点	得失点	順位
LEGAME佐倉	*	○	△	4	2	0	2	1
日吉台SC	●	*	△	1	1	3	-2	3
成田SSS	△	△	*	2	1	1	0	2



◆予選L・D組、日吉台SCの守護神・香月



◆予選リーグ・A組 酒々井FCの怒涛の攻め



◆NKの攻撃の仕掛け



◆仲間が決めた・歓喜の雄叫び



◆旭FCの攻撃の要、この人は強かった

第36回 NFA 四十雀サッカー大会(エンジョイの部)

◆成田勢が総崩れ、CPFCの連覇を許す、2位もダークホースの旭FCが輝いた

【大会結果 エンジョイ部門】

平成15年度から設立されたエンジョイ部門の優勝回数は、NKエミが7回でダントツトップ、2位は3回でCPFC、勢いは大会2連覇中のCPFCが本命、それを栄RFC、公津FC、酒々井FCがどう戦うか、ダークホースの旭FCの存在も気になります。今回大会は10チーム3予選ブロックで開催。

予選A組は公津FCとその栄RFCとの一騎打ち、公津FCは、昨年大会では酒々井FCとの連合チームで参戦し、前2枚のFWだけで2勝しましたが、今回は勝点で栄RFCに並ばれPK戦の上予選敗退となりました。

予選B組は日吉台SCが久しぶりに奮闘、三里塚FCをゼロ封、苦手のNFCに分けたものの勝点で綺麗に1位抜けはいい予感がします、C組は優勝候補のCPFCと対抗は酒々井FCでしたが、酒々井が思うように得点を重ねられず敗退、代わって新鋭・旭FCが台頭します。

準決勝の組合せは日吉台SCと旭FC、3連覇を狙うCPFCは栄RFCで、日吉台SCにとって有利と思われましたが、旭FCにゼロ封であっさり敗退します。CPFCと栄RFCががっぷり四つで戦い、決勝に抜けたのは自力で勝るCPFCとなりました。後の熱戦は写真と成績でご想像ください。

【予選ブロック】
【決勝トーナメント】

■勝点と同じ場合: ①得失点差、②総得点、③当該対戦の最大得点、④PK

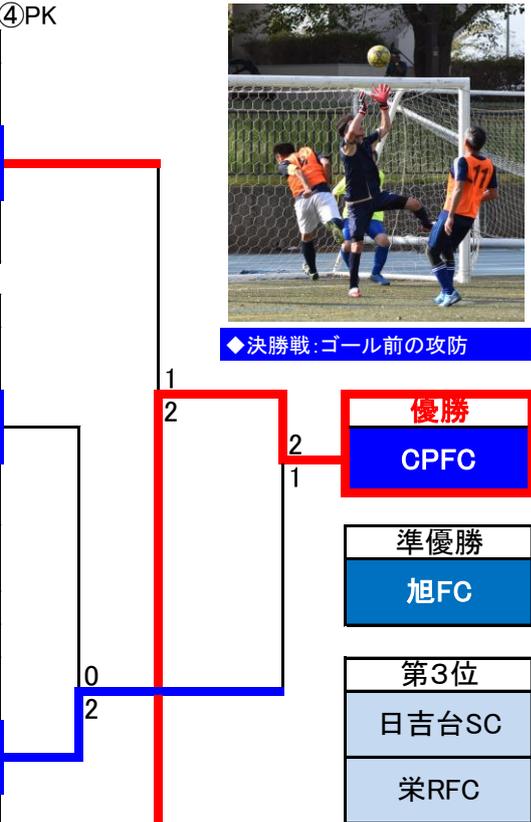
A組		成田SSS	栄RFC	公津FC	勝点	得点	失点	得失点	順位
成田SSS		●	●		0	2	4	-2	3
栄RFC	○	1 - 2	△(PK6-5)		4	3	2	1	1
公津FC	○	△(PK5-6)	1 - 1		4	3	2	1	2

B組		三里塚FC	日吉台SC	NFCシャトース	勝点	得点	失点	得失点	順位
三里塚FC		●	○		3	1	3	-2	2
日吉台SC	○	0 - 3	△		4	5	2	3	1
NFCシャトース	●	△	2 - 2		1	2	3	-1	3
					0	0	0		

C組		NKエミ	旭FC	酒々井FC	CPFC	勝点	得点	失点	得失点	順位
NKエミ		●	●			0	4	6	-2	4
旭FC	○	1 - 2	3 - 4	△		4	3	2	1	2
酒々井FC	○	4 - 3		●		3	5	6	-1	3
CPFC	△	1 - 1	3 - 1	○		4	4	2	2	1



◆決勝戦:ゴール前の攻防



- 優勝
CPFC
- 準優勝
旭FC
- 第3位
日吉台SC
- 栄RFC



◆3連覇を飾ったCPFCイレブン、今年も強かった



◆決勝:歓喜の瞬間・耐えて待っていた仲間のゴール(CPFC)